

日高南部地域の林業の活性化に向けた取り組み

～地域課題である搬出間伐・列状間伐の推進等～

日高南部森林管理署

地域の課題

搬出間伐・列状間伐の推進

○搬出間伐が進んでいない。定性間伐が定着している等の現状から、森林所有者に低コストな列状間伐を理解してもらうために、地域全体での取り組みが必要。

木質バイオマス資源の需要

○新たに、様似町内に木質バイオマス発電向けのチップ生産工場が整備されるなど、道内の木質バイオマス発電等への原料の安定的な供給が必要。

民国連携した集約化施策に向けて

○民有林と国有林が効率的に路網整備や間伐等の森林整備の推進していくために共同施業団地を設定し民国連携した集約化施策が必要。

平成27年度の取組

列状間伐現地検討会等の開催

【目的】

高性能林業機械を活用した列状間伐の技術・知識を高め地域の実情に応じた間伐方法や作業システムの検討等を通じて一般民有林における低コストな列状間伐の普及・定着を図ることを目的に国有林と民有林の2カ所で開催しています。

【実施内容】

現地では、急傾斜地での伐採（人、機械）、集材方法（機種別）及び進入広葉樹の扱いなど、低コスト、作業システムについて意見交換を実施。室内の座学においては路網の作設・維持経費等の予算確保について、民有林及び国有林の予算等について意見交換を実施し、路網整備の必要性についての民有林と国有林の比較検討を行っています。

【意見交換では】

- ・伐採列内の広葉樹を伐採する等有効利用を検討すべき
- ・急傾斜地の集材は既存の作業機械の利用（グラブプルにウインチを付ける等）
- ・路網は作設勾配を10度以内とすることや既存路網の利用は、勾配を十分確認する必要がある。
- ・地域に合った作業システムと、高性能林業機械の使用による安全性の確保。

【搬出間伐・列状間伐を進める上での課題】

- ・急傾斜地での間伐方法の確立、列状間伐に対する森林所有者の不安感の払拭、路網の維持経費、路網の整備と集約化の推進、地域に合った作業システムの検討、森林所有者の森林整備への意欲の向上等



木質バイオマス資源の供給

木質バイオマス資源は、国有林に散在しているため林地未利用材情報を取りまとめ、局ホームページに「造材端材発生見込情報」「林地未利用材発生情報」として公表しています。

これにより今年度は、158m³の販売に至っています。



（様似町鶴苫チップ生産工場）

森林計画・路網整備意見交換会の開催

振興局・市町村等の民有林関係者と、民有林と国有林の路網の連結など効率的な路網や集約化施策の推進に向けた情報・意見交換を行った。

森林所有者との合意形成や路網作設経費などの問題を解決していき、地域に合った効率的な森林整備を進めることとした。



※検討会等様々な取り組みの中から、関係機関との連携が密になり、国有林の取組と協力への期待が強化された。

今後に向けて

林業の低コスト化への取り組みは森林整備を進めていくために重要であることを踏まえ、森林所有者や行政機関を交え列状間伐の有利性を示し低コスト施策と搬出間伐の拡大に向けて取り組んで行く。